

一般社団法人 国際P2M学会

2011年
最近の学会トピックス

忘年会事務局

盛況であった春季大会

挨拶をされる吉田邦夫学会会長



川口教授の基調講演「はやぶさプロジェクト」



秋季大会での活発な議論となったパネル 「産業構造の転換とこれからの産業力～東日本大震災を踏まえて～」

パネリスト(左から):高橋専務理事、 出口、根本、木下、浅田の各評議員



活発な質疑応答の山本評議員(左)と

和田会員(右)



三学会連携によるコンGRESの開催

2011年11月19日(土) 東京農工大学 小金井キャンパスにおいて三学会の連携によるコンGRESを開催しました。参加者は 学生を含めて65名でした。(実行委員会の委員長には亀山理事、副委員長に小原理事で実施されました)

参加学会： 国際P2M学会
日本開発工学会
化学工学会経営システム研究委員会

テーマ : 「開発と起業の相互プロセス～孵化・起業・事業への進化」
- ビジネスモデルとプロジェクトマネジメントの視点 -

プログラム:

- (1) 研究発表会(スモールコンGRES); 13:00-17:30
- (2) ゼロエミッション・ハウスの見学; 17:30-18:00
- (3) 懇親会; 18:00-19:30

吉田邦夫会長の開会挨拶



吉田邦夫学会会長は、このような連携コングレスを開催することの重要性を強調されました。特に今年起こった大震災を始めとする数々の困難な事態に直面して、日本の産業や社会が様々な問題を解決するためのより有効な方法やアプローチを見出さなければならないが、そのためにも従来の学会の境界を越えてお互いの知見や経験を交換し合い、例えば日本のイノベーションと事業化のような共通のテーマに取り組むことが必要であると述べられた。

(筑波大学宮尾尊弘名誉教授のコングレス報告ブログより引用、以下同様)

亀山秀雄理事の報告と討論
「P2Mにおける大学院教育と研究開発マネジメント」



日本開発工業会・永井明彦名古屋工業大学教授の報告と討論
「開発と起業の相互プロセスにおける課題：ミドルエージェントの必要性」



左 : 谷口邦彦評議員の報告「産学官連携とベンチャー起業・育成・支援」
右 : 化学工学会西村二郎氏の報告「新事業立上げプロジェクトのマネジメント」



左 : 中上崇日本開発工学会会長の閉会挨拶



参加者の全般的感想と同じだと思われるが、中上会長より、開催前は三学会連携コンGRESの意味について必ずしも確信が持てなかったが、すべてのプレゼンと討論を聞いた後では、このような三学会による交流をもっと進めることがお互いを刺激して再活性化するために必要であるという確信に変わったという話がありました。「創造的破壊」を引用され、連携によりクリエイティブなものが生まれることと若い人のこれからの活躍を期待したいとも述べられた。

亀山秀雄理事による農工大ゼロエミッション・ハウスの説明と建設中の外観



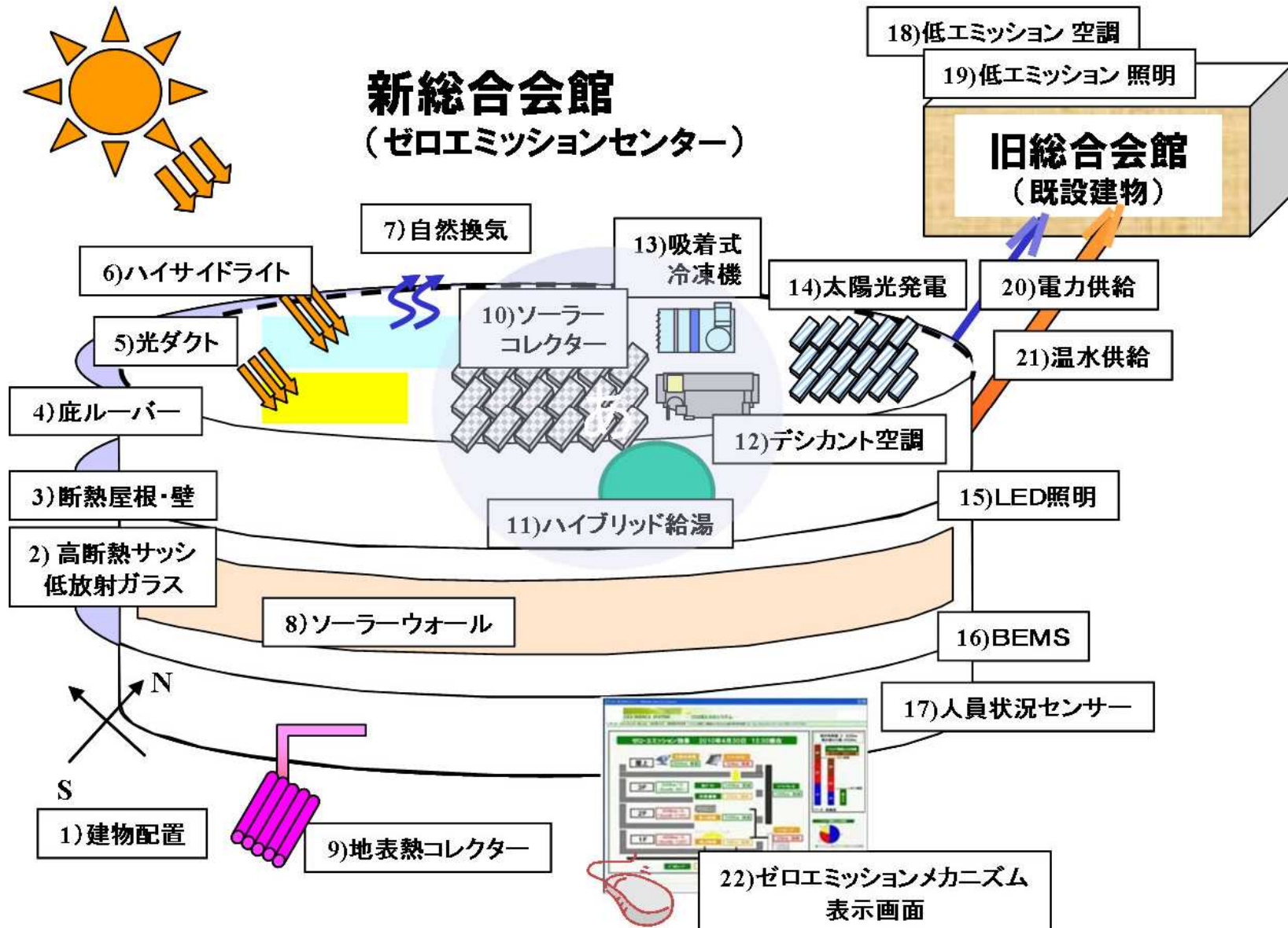
盛況であった懇親会の様子



竣工したゼロエミッションハウス(140周年記念総合会館)の全貌



東京農工大学 新総合会館 「次世代省エネルギー等建築システム実証事業」システム概略



P2M環境プロマネ資格の活動状況

資格認定試験と特別研修

企業や行政における環境領域の実践者を対象に、3月と8月に関東地区・農工大、関西地区・阪大において、特別研修プラス能力試験を実施しました。

現在までの合格・認定者は 15名

「グリーン・プロジェクトマネジャー」 12名

「グリーン・プロジェクトエキスパート」 3名

グリーンP2M交流会の発足

11月には、合格者による環境P2M活動の初回会合が開催されました。

今後の予定

来年3月にも研修プラス試験を実施する予定で、受験募集を開始しました。

特別研修

8月12日、13日の2日間、農工大にて試験対策講座が開かれました。

研修内容

- 1日目 「環境理念・環境法及び環境モデル」、「技術システムソリューション」
「プロジェクトマネジメント」「環境ビジネス実践応用」
- 2日目 「P2Mプロジェクトマネジメント」「P2Mプログラムマネジメント」
「環境プログラムマネジメント実践応用」(ロジックモデル、HOPE80プロジェクト事例)
「受験対策(プレゼンの事例発表)」

受講者の真剣な様子



研修講師の皆さん

特別研修講座予定

社団法人大学側で実施した環境リスク評価シミュレーションや環境プロジェクトの講義を参加対象に向けて再編した1/2ポイントとしたものです。

12日(金曜日)

9:30~10:45 環境理念、環境法とPM
 11:00~12:15 プロジェクトとプログラムとPM比較
 昼休み

13日(土曜日)

9:30~10:45 プロジェクトマネジメント
 11:00~12:15 環境とビジネス実践応用
 昼休み

14日(日曜日)

9:30~10:45 プログラムマネジメント
 11:00~12:15 環境プログラムマネジメント実践応用
 昼休み

講義のポイント

1. プロジェクトマネジメント(PM)とは
2. グローバル標準と知識体系
3. プロジェクトマネジメントとシステムエンジニアリング
4. プロジェクト管理手法

環境リスク評価

人間活動

- 公共
- 企業
- 家庭

環境

環境汚染防止

大気汚染防止
 排水処理
 廃棄物処理
 土壌・水質浄化
 騒音・振動防止
 環境測定、分析、アセスメント

環境負荷削減

環境負荷削減及び
 予防型
 削減、ブレイク、製品

環境の変化

企業が変化する要因がある。これは競争から影響を受けるからである。

従来の目標

- コスト削減
- 品質向上
- 顧客満足

環境目標

- 環境保護
- 社会貢献
- リスク管理

能力試験

午前 環境、P2Mに関する論述試験(90分)

午後 自己の研究、実践についてのプレゼンによる能力判定試験
(質疑応答を含めて 一人30分)

試験風景



第1回グリーンP2M交流会の開催

11月26日農工大にて、資格認定者のグリーン・プロジェクトマネジャーとグリーンプロジェクトエキスパートによる交流会を立ち上げました。

活動の趣旨は、「持続発展可能な社会実現に向けて、イノベーションのための環境ソリューション戦略とアクションを一体化するP2M理論の研究、実践等の活動を通じて、社会価値と環境事業価値を整合するための能力向上と情報の共有化を図る」。

交流会の会長に野地英昭会員、副会長に中村明会員を選出しました。今後は、年2回の予定で 定期的会合を開催することにしております。

初回会合の様子



亀山理事 弘前大学の防災・日本再生シンポジウムに出演

2011年11月9日(水) 青森市において弘前大学主催の防災・日本再生シンポジウムが開催され、パネルディスカッションのコメントーターとして 亀山理事が登壇されました。

シンポジウムは、主に地域住民と地元企業を対象にしてもので約190名の参加者がありました。

「日本再生プランと人材育成」をテーマにしたパネルディスカッションが行われ、亀山理事からはプロジェクトマネジメントの視点からの人材育成についてコメント発表されました。

「技術経営」「安全・リスク管理」などの教育をカリキュラムに取り入れた人材育成が重要との意見にも触れられ、大震災後の日本再生、人材育成に向けた活発な議論がなされました。

日本人の知恵・アイデア
提案を未来の笑顔のためにつなぎます。



国立大学法人弘前大学

防災・日本再生 シンポジウム

東日本大震災後の災害復旧・復興に向けて、エネルギーインフラの強化や放射能汚染浄化、
 生態環境の修復、被ばく等への早急な対応が求められています。
 弘前大学が以前から重点的に取り組んできたこれらの課題への取り組みについて紹介し、
 それらを踏まえた日本再生プランを提示します。



PROGRAM ●日時 平成23年11月9日(水) / 13:00~17:00
 ●会場 青森グランドホテル / 本館2階平仮の間

13:00 ~ 13:05	1. 開会挨拶	学長挨拶 弘前大学長 遠藤 正彦	来賓挨拶 青森県知事 三村 申吾
13:05 ~ 13:10			
13:10 ~ 13:15	2. 開催趣旨説明	弘前大学学長特別補佐 南條 宏肇	
13:15 ~ 13:45	3. 講演	① 再生可能エネルギーによる災害に強い低炭素社会の実現 弘前大学北日本新エネルギー研究所 所長 神木 正行	
13:45 ~ 14:15		② 環境中に放出された放射性物質による環境・人体への影響とその対策 弘前大学被ばく医療総合研究所 教授 床次 眞司	
14:15 ~ 14:45		③ 農地土壌の塩類汚染浄化に向けた取り組み 弘前大学農学生命科学部 助教 遠藤 明	
14:45 ~ 15:00	休憩		
15:00 ~ 16:55	4. パネルディスカッション	『日本再生プランと人材育成のあり方』	
	◎コーディネーター	弘前大学学長特別補佐	南條 宏肇
	◎パネリスト	足利工業大学 学長 牛山 泉 鹿児島大学大学院医学総合研究科 教授 秋葉 澄伯 東北大学大学院農学研究所 教授 南條 正巳 弘前大学北日本新エネルギー研究所 教授 島田 宗勝 弘前大学被ばく医療総合研究所 教授 吉田 光明 弘前大学農学生命科学部 助教 遠藤 明	
	◎コメンテーター	東京農工大学大学院工学研究科 教授 亀山 秀雄 財団法人放射線影響研究所遺伝学部 部長 児玉 喜明 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授 塩沢 昌 弘前大学理事 井口 泰孝	
16:55 ~ 17:00	5. 閉会挨拶	弘前大学副学長・理事(研究・産学連携担当)	加藤 陽治

入場
無料
定員300名

参加ご希望の方は、下記の
申込書に必要事項を明記
の上FAXまたはe-mailにて
お申込みください。
事前のお申込みは、ご参加の
ご確認ができません。定員に
達した場合は、お申し込みの
順番によりお断りさせていただきます。

■主催 国立大学法人弘前大学
 ■共催 一般社団法人国立大学協会
 ■後援 青森県・青森市・弘前市
 ■お問合せ 国立大学法人弘前大学北日本新エネルギー研究所
 〒030-0813 青森市弘前2丁目1番3号(雄略動物記念館前)
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/energy/>
 TEL 017-735-3363
 FAX 017-735-5411
 e-mail njne@cc.hirosaki-u.ac.jp

【個人情報に関する取り扱いについて】この参加申込書に記入された個人情報につきましては、国立大学法人弘前大学北日本新エネルギー研究所が責任を持って管理し、本イベントに関する連絡以外には使用いたしません。

「防災・日本再生シンポジウム」参加申込書

氏名	本名(姓)
電 話 番 号	
ご 職 業	



パネルディスカッションの様子